

あまのこ 妙好人と「花燃ゆ」を訪ねる旅

特集
P4-5

団体参拝 島根・山口

講師 田原総一郎さん



P6
仏教婦人会・仏教社年会
合同研修会

- P2 — 親鸞聖人のことば「真実の教え」
- P3 — 寺院紹介 嚴正寺
- お上りQ&A「ご本尊」とは何ですか？
- P7 — 伝灯奉告法要についての消息
- P8 — 伝灯奉告法要修行期日

南組の寺院紹介

柳紅山 嚴正寺

大田区大森東3-7-27 ☎ 3761-4945



嚴正寺は、文永9(1272)年に鎌倉幕府の執権・北条時政の曾孫である法円が創建した海岸寺に始まります。

第2世法密は、当時の長雨による被害の救済に尽力しました。里人は舞で感謝を表したといわれています。この舞は「水止舞」として伝わり、今では東京都無形民俗文化財に指定されています。

第6世了意は、本願寺の存如上人から教えを受けて浄土真宗に帰依し、第11世祐恵が慶長8(1603)年に寺号を嚴正寺と改めました。

第22世祐允はヨーロッパを周り、イギリスで宗教を取り入れたボーイスカウト活動に感銘を受け、帰国後は真宗に基づく子ども会「樹心の会」を作りました。

第23世祐巻は昭和20(1945)年の終戦後、焼け野原になった大森の地で荒廃した子ども達の心を育てようと尽力し、それが「ボーイスカウト大田第1団」や「和敬幼稚園」になりました。幼稚園では真宗の教えのもと、宗教行事やピアノ・バレエ・絵画・空手道・英会話等、子ども達の情操教育に力を注いでいます。

嚴正寺の梵鐘は安永元(1772)年に鑄造されたもので、大田区文化財に指定されています。



浄土真宗Q&A

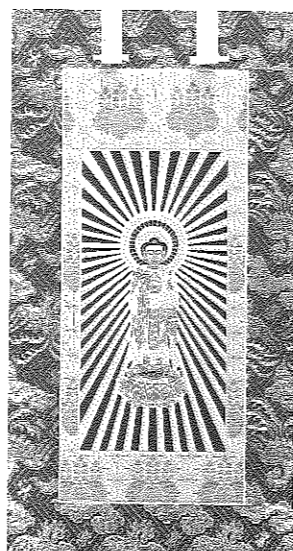
Q 「ご本尊」とは何ですか？

A お寺の本堂や家庭のお仏壇の中心に安置されている仏様のことで、浄土真宗では、開祖・親鸞聖人が諸仏にすぐれた仏様として尊ばれた阿弥陀如来のことです。

阿弥陀如来は、はかり知れない光(無量光)と、はかり知れないいのち(無量寿)をそなえられた仏様です。光は空間の広がり、寿は時間の長さであり、すべての時代・あらゆる場所でのほたらきを意味します。

阿弥陀如来の立ち姿は、私たち凡夫をいつでもただちに救おうというお心の表れです。手のかたちは「攝取不捨印」といい、一切のいのちを決して見捨てること無く極楽浄土に救いとるという相を表しています。お身体の後ろから放たれている光は、私たちを救おうとする阿弥陀如来のご本願が光明となって、私たちに届けられていることを象徴しています。

親鸞聖人は、阿弥陀如来の願い・はたらきを、この上なく尊いものと仰がれました。そして、迷い苦しむいのちを支え導くより所として、私たちにおすすめぐくださったのです。



親鸞聖人のことば

真実の教え

(『拝読 浄土真宗のみ教え』より)

あらゆる者を救いとる教えこそ真実の教え、究極の教えである。親鸞聖人は仰せになる。

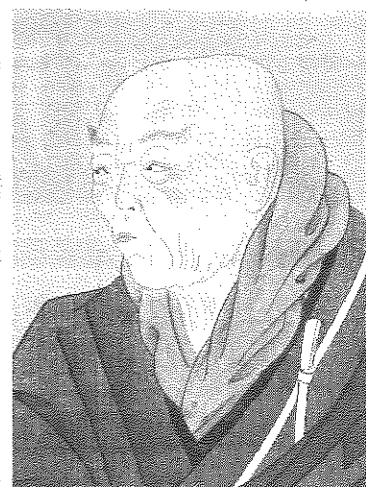
それ真実の教を顕さば
すなはち『大無量寿経』これなり

『大無量寿経』には、あらゆる人を念仏一つで救おうと誓われた、阿弥陀如来の本願が説かれている。

釈尊はその生涯をとおしてさまざまな教えを説き広められた。

この経が説かれるとき、釈尊のお顔は、いまだかつてないほどに悦びにあふれ、気高く光り輝いておられた。

あらゆるものを救いとる阿弥陀如来の本願を説くことこそ、釈尊がこの世に出られた目的だったからである。

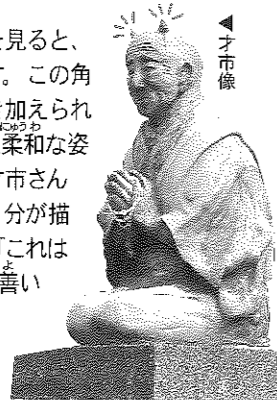


解説: 妙好人とは

妙好人とは、在家者(僧侶ではない仏教者)で念仏信仰に熱心な人物のことです。多くの人の話が伝えられていますが、ここでは今回の団参ゆかりの「石見の才市」と「有福の善太郎」の2人を取り上げます。

●石見の才市(浅原才市)(1850~1932)

浅原才市さんは、幼くして両親と別れて暮らすことを余儀なくされ、両親を憎みました。さらには、酒や博打に明け暮れた時期もありました。しかし、聴聞の生活を始めたところ、悪人が救われるという教えを聞きました。才市さんはこれを自分のことと受け取り、思わず喜び叫んだのです。



才市さんの肖像画を見ると、頭に角が生えています。この角は、本人の希望で描き加えられたものです。合掌した柔和な姿ですが、これを見た才市さんは、醜い心を持った自分が描かれていないと思い、「これはわしてではない。こんな善い顔はしてらん」と言って、角を生やしたのです。

●有福の善太郎(1782~1856)

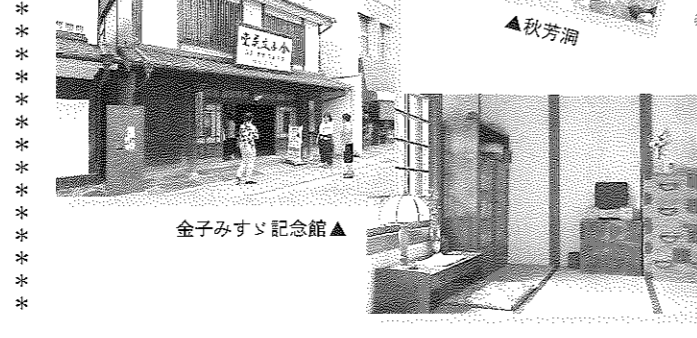
善太郎さんは、若い頃は酒・博打・喧嘩に明け暮れ、村人からは「毛虫の悪太郎」と嫌われていました。しかし、4人の子供を次々と幼くして亡くしたことが機縁となり、ご法座へ参るようになりました。教えにあった喜びを「やれやれうれしや有難や生々世々の初事に わたしゃ全体悪太郎であるけども おかげでこの善太郎というもらう やれうれしや この善太郎」と詠んでいます。



善太郎さんは光現寺の近くに自宅を建て、田畑で仕事をしている中でもお寺の鐘が聞こえると聴聞に駆けつけました。また、手次寺の浄光寺の本堂が再建され、その慶讃法要で善太郎さんは「この善太郎におみりのを聞けよと建てて下さいました」と喜び、柱に抱きつき嬉し泣きました。

妙好人と呼ばれる方々は、自分の非力さ・至らなさを味わっても、それを嘆くだけで終わっていません。これは、物事の優劣や損得に注目する世間一般とは異なる視点を合わせていたからです。その背景には、「何があっても阿弥陀様は見捨てない」という確信があるのです。

2日目はNHK大河ドラマ「花燃ゆ」の舞台・萩を散策したのち金子みすゞさんの出生地、長門市仙崎を訪れました。以前、南組の研修会で金子みすゞ記念館館長、矢崎節夫氏の講演をお聞きしたことがあります。その時の記憶を思い出しながら、みすゞさんゆかりの品々を拝見してまた深く味わうことができました。記念館には観光客が数多くいらして、みすゞさんの詩がみなさまに響いていると感じました。



金子みすゞ記念館▲



恒例のラジオ記念会でも!!

印象的だったのは妙好人の方は特別な時だけではなく、日頃から阿弥陀さまのお心をいただきながら生活されていたことです。仏事は葬儀や法事のときだけに必要と思われることが多いようです。しかし本当は、今ここで生きている私のため、教えだと同じました。日々の生活の中で仏さまの教えを中心に生きることが大事であり、その姿勢を体現されたのが妙好人の方々だったと有難く聞かせていただきました。

今回の団体参拝旅行は島根県、山口県を中心にお参りさせていただきました。こちらには妙好人と呼ばれ、お念仏をより所にして生きられた方が数多くいらっしゃった地域です。初日は安楽寺さま、光現寺さまにお参りさせていただき、それぞれにご説明を受けました。

いまここで生かされている、願われている私



島根・山口団体参拝

みようこうにん 妙好人と「花燃ゆ」を訪ねる旅

平成二十七年 六月一日(月)~三日(水)

主な訪問先

- 1日目 温泉津 安楽寺 有福 光現寺
- 2日目 松下村塾、伊藤博文旧宅など 萩市内散策 金子みすゞ記念館
- 3日目 秋吉台、秋芳洞 下関 春帆楼

下関 春帆楼

安楽寺

仏教婦人会、仏教青年会合同研修会

2015(平成27)年10月20日(火)



講師
たはら そういちろう

田原 総一郎さん

戦争に正しいものはない

私は滋賀県彦根の生まれです。実家は浄土真宗本願寺派の門徒で、常に仏さまに見られていると教えられました。

祖母からは近江商人の思想である「三方よし」(売り手よし、買い手よし、世間よし)を学びました。お客さんから信頼され、社会から信頼されてはじめて商売はうまくいくという考え方です。私は自分なりに近江商人の生き方を続けてきました。ウソを言わない、隠し事をしない、批

判は本人の目の前で言うという姿勢で、多くの信頼を得ることができました。

1945(昭和20)年、私は小学5年生でした。夏休み中の8月15日に自宅のラジオで終戦を伝える玉音放送を聴きました。当時の男子にとって将来の道は陸軍か海軍に入隊するしかなく、戦争が終わったことで前途が閉ざされたと思ひ絶望しました。しかし灯火管制がなくなり夜の街に灯りがともっているのを見て、複雑でしたが開放的な気分にな

りました。

学校ではそれまで「大東亜戦争は植民地化されたアジアの国々を開放するための正しい戦争」と教えられましたが、終戦後は「戦争は間違っていた、侵略戦争だった」と全く逆のことを言われ、大変驚きました。そして「国が国民をだますことがある、新聞もラジオも信用できない」と感じました。自分の目で見て耳で確かめないと危ない。これが私のジャーナリストとしての原点です。

その後、日本の戦争は間違いだつたと分かりました。第1次世界大戦ではヨーロッパ全土が戦場になり、一般人を含め1千万人以上が亡くなりました。そのため戦争は例外なく悪いものとされ、1927(昭和2)年にパリ平和条約が結ばれました。翌年には日本も調印しています。ですから1931(昭和6)年の満州事変、1937(昭和12)年の日中戦争は条約違反であり、世界から認められなかった戦争でした。私は今でも戦争に正しいものはないと考えています。

日本が70年間戦争をやらなかった理由の1つは、憲法9条で武力行使

を放棄しているからで、もう1つは

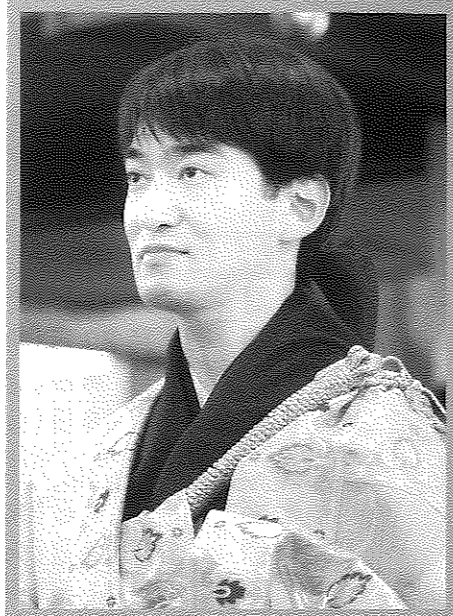
日米安保条約があるからです。東西冷戦時、アメリカには日本を含む西側諸国を守る責任がありました。しかしソ連崩壊によって冷戦が終わり、アメリカには日本を守る必要がなくなりました。日本が自国を守るためにはどうすればいいのでしょうか。様々な意見がある中で、現実にはアメリカとの同盟関係を強化するしかありません。そのために両国がお互いを守る義務(双務性、すなわち集団的自衛権)が求められます。これが安保法です。

安保法が成立したからといって、日本が戦争に巻き込まれることはないと思います。しかし問題は、拡大解釈によって戦争に参加することが可能になる法制であること、また後方支援に関するノウハウがなく、そのための議論も深まっていないことです。後方が安全とは限りません。国会では与野党両方がしっかりと頑張つて、議論を尽くしてもらいたいと思います。

宗教は平和を求めるものです。浄土真宗の皆さんは大人しすぎるように感じます。もっと平和問題に積極的に関わってほしいと思います。

平成28、29年ご修行 法統継承を 仏祖の御前に奉告

第25代専如ご門主より「伝灯奉告法要についての消息」が發布されました。伝灯奉告法要は、ご門主が法統を継承されたことを仏祖の御前に奉告することにも、お念仏のみ教えが広く伝わることを期するもので、平成28、29年に修行されることになりました。



去る平成二十六年六月六日、前門主の跡を承けて法統を継承し、本願寺住職ならびに浄土真宗本願寺派門主として務めてまいりました。ここに法統継承を仏祖の御前に奉告いたしますとともに、あわせて本願念仏のご法義の隆盛と宗門の充実発展とを期して、平成二十八年および二十九年に、伝灯奉告法要をお勤めすることになりました。

阿弥陀如来のご本願は、あらゆる存在を分け隔てなくそのまま救おうとはたらきかけていくでございます。迷いと苦悩をかかえる私たちは、阿弥陀如来のお慈悲ひとすじにこの身を任せ、真実のさとりの世界であるお浄土に生まれていくべき身にならせていただきます。宗祖親鸞聖人が「そらごとたわごと」とお示しくださった私たち自身を含む迷いの世界は、何一つとしてたよりになるものはありませんが、ご本願のはたらきの中に生きる私たちは、確かな依りどころを持つことができます。

科学技術の発達による便利で豊かな生活の追求や欲望の肥大化はとどまることを知りませんが、人々は、そのような豊かさのみを追求することの虚しさに気づきはじめていたのではないのでしょうか。しかも、核家族化・人口の流動化などによって社会構造は大きく変化し、人間関係は希薄となり新たな悩みや不安を生み出しています。さらに世界に

眼を移せば、武力紛争、経済格差、気候変動、核物質の拡散など、人類の生存に関わる課題が露呈しています。これらの傾向は今後一層強くなっていくことと思います。

私たちは、凡愚のまま摂め取つて捨てないとはたらき続けていくのださる阿弥陀如来のお慈悲を聞信させていただき、その有り難き尊さを一人でも多くの方に伝えることが大切です。それとともに仏智に教え導かれて生きる念仏者として、山積する現代社会の多くの課題に積極的に取り組んでいく必要があります。まさにこのような営みの先にこそ、「自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する」道が拓かれていくのであります。

このたびのご法要が、親鸞聖人によって明らかにされた阿弥陀如来の救いのはたらきに依りながら、時代の変化に対応する宗門の新たな第一歩として意義を持つものでありたいと思います。宗門では、親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百八十年に向けて新たな長期計画が策定されます。皆様の積極的なご協力とご参画を心からお願いいたします。

平成二十七年
二〇一五年

一月十六日

龍谷門主 釋 専如

伝灯奉告法要についての消息

去る平成二十六年六月六日、前門主の跡を承けて法統を継承し、本願寺住職ならびに浄土真宗本願寺派門主として務めてまいりました。ここに法統継承を仏祖の御前に奉告いたしますとともに、あわせて本願念仏のご法義の隆盛と宗門の充実発展とを期して、平成二十八年および二十九年に、伝灯奉告法要をお勤めすることになりました。

伝灯奉告法要修行期日

2016(平成28)年

- 第1期 ▶ 10月1日(土)～10月8日(土)まで
 第2期 ▶ 10月20日(木)～10月27日(木)まで
 第3期 ▶ 11月4日(金)～11月11日(金)まで
 第4期 ▶ 11月18日(金)～11月25日(金)まで

2017(平成29)年

- 第5期 ▶ 3月7日(火)～3月14日(火)まで
 第6期 ▶ 3月28日(火)～4月4日(火)まで
 第7期 ▶ 4月11日(火)～4月18日(火)まで
 第8期 ▶ 4月25日(火)～5月2日(火)まで
 第9期 ▶ 5月9日(火)～5月16日(火)まで
 第10期 ▶ 5月24日(水)～5月31日(水)まで



※法要は1日1座(午後)とし、西本願寺において修行されます。

ただし、2017(平成29)年4月18日(火)に限り、大谷本廟において修行されます。

南組の団体参拝は2017(平成29)年5月24日(水)を予定しています。

南組(みなみそ)とは

浄土真宗本願寺派では、全国を31の「教区」と沖縄開教区に区分けして、各教区を地域ごとに「組(そ)」に細分しています。関東地方・山梨県・静岡県は「東京教区」に属しており、その中で東京都品川区・大田区・目黒区と世田谷区の一部は「南組」の地域です。本誌で紹介しましたように、南組の寺院は組としての共同の活動に取り組んでいます。

南組に所属する浄土真宗本願寺派(お西)のお寺です

西光寺 <small>さいこうじ</small>	品川区大井4-22-16	☎ 3777-6070	延徳寺 <small>えんとくじ</small>	大田区萩中1-12-17	☎ 3732-1472
最徳寺 <small>さいとくじ</small>	大田区大森北3-18-25	☎ 3761-6811	福称寺 <small>ふくしょうじ</small>	大田区萩中1-12-20	☎ 3738-1720
徳浄寺 <small>とくじょうじ</small>	大田区大森東1-16-22	☎ 3761-4127	妙覚寺 <small>みょうかくじ</small>	大田区萩中1-12-29	☎ 3738-3091
厳正寺 <small>ごんしょうじ</small>	大田区大森東3-7-27	☎ 3761-4945	善永寺 <small>ぜんえいじ</small>	大田区萩中1-11-24	☎ 3739-5641
久宝寺 <small>きゅうほうじ</small>	大田区本羽田3-17-1	☎ 3742-0886	真光寺 <small>しんこうじ</small>	大田区萩中1-13-6	☎ 3731-5644
海岸寺 <small>かいがんじ</small>	大田区本羽田3-17-6	☎ 3742-0921	浄興寺 <small>じょうこうじ</small>	大田区東矢口2-10-9	☎ 3759-8673
福泉寺 <small>ふくせんじ</small>	大田区萩中3-27-10	☎ 3742-2048	唯称寺 <small>ゆいしょうじ</small>	品川区小山4-9-15	☎ 3782-2486
光教寺 <small>こうきょうじ</small>	大田区中央4-35-3	☎ 3771-9408	宗導寺 <small>しゅうどうじ</small>	目黒区目黒本町6-19-3	☎ 3712-6811
専浄寺 <small>せんじょうじ</small>	世田谷区等々力6-7-10	☎ 3701-4753	西教寺 <small>さいきょうじ</small>	品川区豊町1-8-12	☎ 3781-6154
報身寺 <small>ほうしんじ</small>	大田区萩中1-11-16	☎ 3738-0870	善照寺 <small>ぜんしょうじ</small>	大田区南馬込4-9-11	☎ 3771-8700
正覚寺 <small>しょうかくじ</small>	大田区萩中1-13-13	☎ 3731-9212	永正教会 <small>えいしょうきょうかい</small>	目黒区麁番2-17-5	☎ 3714-0767